

施策評価調書(1)

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

めざす姿	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”
施策名	1 市民が元気に活動するための環境づくり
施策関係課	(市民生活部)自治振興課・協働推進課・芝支所・川口駅前行政センター／(環境部)朝日環境センター

●施策の基本方針(目標)
市民の自発的な活動を促すとともに、それらの活動の成果を地域にも還元できるような環境づくりを進め、市民の手で地域全体が元気になるようなまちをめざします。

●目標指標						
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:VI-1)			単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)	現状値	33.9(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値	31.000	31.700	30.000	32.900	0.000
指標②	名称	町会・自治会加入率			単位	%
	目標値	60.0(令和7年度)	現状値	58.0(令和元年度)	指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値	57.400	56.600	55.300	54.300	0.000
指標③	名称	NPO法人・ボランティア団体数			単位	団体
	目標値	405(令和7年度)	現状値	375(令和元年度)	指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値	366.000	347.000	378.000	365.000	0.000
指標④	名称				単位	
	目標値		現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値					
指標⑤	名称				単位	
	目標値		現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値					

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額	令和7年度予算額
	事業費	137,346	160,150	143,730	211,495	214,000
	概算人件費	130,285	128,995	127,125	113,167	112,216
	総事業費	267,631	289,145	270,855	324,662	326,216

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策①	単位施策②	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
		54	53		
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			53.5	

施策評価調書(2)

評価対象年度

令和6年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名	① 地縁活動(町会・自治会など)の支援								
	事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
自治振興事業	市民生活部 自治振興課	27,675	27,394	27,344	27,263	26,674	58	現状維持で実施	
		5,372	5,236	5,372	5,508	5,644			
市表彰関係事業	市民生活部 自治振興課	1,507	1,552	1,082	1,931	2,322	58	現状維持で実施	
		2,449	2,387	2,449	2,511	2,573			
新春交社会事業	市民生活部 自治振興課	8,555	8,187	8,942	7,073	11,084	56	現状維持で実施	
		3,002	2,926	3,002	3,078	3,154			
町会会館建築事業等支援事業	市民生活部 自治振興課	26,741	49,733	35,805	48,797	27,132	58	現状維持で実施	
		2,528	2,464	2,528	2,592	2,656			
コミュニティ推進事業	市民生活部 自治振興課	9,127	9,606	6,971	61,466	64,585	58	縮小して実施	
		2,607	2,541	2,607	2,673	2,739			
コミュニティセンター指定管理者管理運営費	市民生活部 自治振興課	1,347	1,376	1,385	1,335	1,500	58	現状維持で実施	
		2,212	2,156	2,212	2,268	2,324			
鳩ヶ谷コミュニティセンター施設管理費	市民生活部 自治振興課	5,914	5,634	6,120	5,926	6,641	56	現状維持で実施	
		15,274	15,262	15,274	486	498			
マンションコミュニティ支援事業	市民生活部 協働推進課	300	290	300	300	300	44	縮小して実施	
		553	539	553	567	581			
市民ホール施設運営費	市民生活部 芝支所	21,407	21,829	23,377	24,203	25,741	50	現状維持で実施	
		28,032	27,416	28,032	28,648	25,564			
集会所施設管理費	市民生活部 芝支所	7,337	7,597	7,551	7,949	7,928	50	現状維持で実施	
		5,530	4,620	3,555	3,600	3,735			
川口駅前市民ホール指定管理者管理運営費	市民生活部 川口駅前行政センター	4,954	4,475	4,000	3,529	3,042	54	縮小して実施	
		711	693	632	891	913			
コミュニティセンター指定管理者管理運営費	環境部 朝日環境センター	1,451	1,496	1,518	1,590	1,694	52	現状維持で実施	
		790	770	790	810	830			

単位施策名	② 市民活動(NPO・ボランティアなど)の支援								
	事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
市民パートナーステーション施設管理費	市民生活部 協働推進課	12,061	13,814	12,027	12,840	25,936	54	現状維持で実施	
		27,650	29,260	26,544	25,110	25,730			
市民との協働推進事業	市民生活部 協働推進課	6,358	5,814	5,777	5,691	7,777	54	現状維持で実施	
		22,120	21,560	22,120	22,680	23,240			
盛人大学事業	市民生活部 協働推進課	2,612	1,353	1,531	1,602	1,644	52	現状維持で実施	
		11,455	11,165	11,455	11,745	12,035			

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	自治振興事業				担当	市民生活部 自治振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度				
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地域活動(町会・自治会など)の支援								
根拠法令等									

2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営				
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)						事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
町会・自治会加入者に対して、住みよい地域づくりのためのコミュニティ組織の充実と推進を目的とする。						その地域に住む方が、住民相互の助け合い、環境の整備などの住みよいまちづくりを通じて、良好な地域コミュニティの形成が図れる社会をめざす。		
①アクション(当該年度に何を実施したか)						②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
・広報活動報奨金を各町会・自治会へ交付 ・市政協力者へ感謝状を贈呈						広報活動報奨金を230町会・自治会に交付 ・感謝状を71町会・自治会166名に贈呈		
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)						①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
地域におけるコミュニティ組織の充実及びコミュニティ活動の推進が図られた。						今後も地域におけるコミュニティ組織の充実とコミュニティ活動の推進のため、事業を継続していく。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
実績値・達成状況								

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	2 款	1 項	20 目	2 細目	1 細々目	自治振興事業
年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	令和8年度
予算額(A)		27,971	27,939		27,764		26,674	26,674
決算額(B)=(C)+(D)		27,394	27,344		27,263			
財源※	特定財源(C)	6	6		7		7	7
	一般財源(D)	27,388	27,338		27,256		26,667	26,667
概算人件費(E)		5,236	5,372		5,508		5,644	5,644
従事職員人件費(人)	常勤	0.68	0.00	0.68	0.00	0.68	0.00	0.68
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		32,630	32,716		32,771		32,318	32,318

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	現状維持で実施
58 /60	町会・自治会への回覧物を紙面から電子化に移行することにより、町会事務の負担を軽減するとともに、将来的に当該事業予算を縮減する。		現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	市民生活部 自治振興課			
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～	年度
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地縁活動(町会・自治会など)の支援			
根拠法令等	川口市表彰規則			

2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
自治の振興と公益福祉の増進に貢献した者を表彰することで、受賞者の意識の高揚及び市の自治の振興を促進することを目的とする。			自治の振興と公益福祉の増進に貢献した者を表彰することで、受賞者の意識の高揚及び市の自治の振興を促進することを目指す。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
11月10日に川口市表彰を開催し、表彰状及び記念品の贈呈をした。			11月10日に川口市表彰を開催し、特別表彰3名、功労表彰4名、一般表彰77名に対し、表彰状及び記念品の贈呈をした。
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
受賞者の意識の高揚及び市の自治の振興を促進することができた。			今後も受賞者の意識を高揚するため、表彰式や記念品を継続していく必要がある。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②	実績値・達成状況							
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
単位	指標の種別							
目標値	令和4年度				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	2 款	1 項	20 目	2 細目	2 細々目	市表彰関係事業
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		1,874		1,406		2,141		2,322
決算額(B)=(C)+(D)		1,552		1,082		1,931		2,322
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0
	一般財源(D)	1,552		1,082		1,931		2,322
	概算人件費(E)	2,387		2,449		2,511		2,573
従事職員人件費(人)	常勤	0.31	0.00	0.31	0.00	0.31	0.00	0.31
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		3,939		3,531		4,442		4,895

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	現状維持で実施
58 /60	市表彰については、市で最も重要な表彰と位置づけているものであり、市の自治の振興と公益福祉の増進に貢献するため、今後も継続していく。	翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	新春交社会事業			担当	市民生活部 自治振興課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続 継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地縁活動(町会・自治会など)の支援			
根拠法令等				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	市民・各種団体等に対し、市の施策を伝えるとともに、交流の場を設けることで、市全体の連携強化と一体感の醸成を図ることを目的とする		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	1月6日に新春交社会を開催した		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	1,867名の参加申込みがあつたが、当日参加者は635名であった		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	市民・各種団体等に対し、市の施策を伝えるとともに、交流の場を設けることで、市全体の連携強化と一体感の醸成が図れた		
	④アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	申込者が減少傾向にあり、申込者を増やす方法を検討する必要がある		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別								
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度		令和7年度	
指標②	名称				令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	単位	指標の種別								
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度		令和7年度	
実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	2 款	1 項	20 目	2 細目	3 細々目	新春交社会事業		
年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		10,950	11,769		9,431		11,084		11,084	
決算額(B)=(C)+(D)		8,187	8,942		7,073					
財源※	特定財源(C)		4,156	4,270		3,734	4,400			
	一般財源(D)		4,031	4,672		3,339	6,684			
概算人件費(E)		2,926	3,002		3,078		3,154		3,154	
従事職員人件費(人)	常勤	0.38	0.00	0.38	0.00	0.38	0.00	0.38	0.00	0.38
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		11,113	11,944		10,151		14,238		14,238	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行つた	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	近年の物価高騰に伴い、参加費の引き上げ及び記念品の見直しを検討していく必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	町会会館建築事業等支援事業				担当	市民生活部 自治振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～	年度						
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地縁活動(町会・自治会など)の支援									
根拠法令等	川口市町会会館建築事業等補助金交付要綱									

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
	コミュニティ活動の拠点となる町会会館を整備することにより、コミュニティ活動の推進を図ることを目的とする			町会・自治会を利用する人が、不自由なく施設を利用でき、地域コミュニティ活動が活性化すること
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
	町会・自治会が所有する会館の建築事業等に対する補助金の交付			10町会・自治会が行う会館の新築及び修繕等に対し、48,797,000円の補助金を交付した
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
	コミュニティ活動の拠点となる町会会館の整備に対し補助し、地域社会における市民の自治と連携の意識を高め、コミュニティづくりの推進に寄与した			新築・改修年度が一か年に集中する可能性があるため、各町会・自治会と調整し、計画的な整備の検討が必要である

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況							
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	2 款	1 項	20 目	2 細目	5 細々目	町会会館建築事業等支援事業
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		51,933		36,783		54,827		27,132
決算額(B)=(C)+(D)		49,733		35,805		48,797		27,132
財源※	特定財源(C)	15,000		10,000		15,000		5,000
	一般財源(D)	34,733		25,805		33,797		22,132
	概算人件費(E)	2,464		2,528		2,592		2,656
	従事職員人數(人)	常勤	再任用	0.32	0.00	0.32	0.00	0.32
	総事業費[(A)又は(B)+(E)]	52,197		38,333		51,389		29,788

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 /60	建築資材が高騰しているなか、町会・自治会に対し、計画的な資金運営及び事業計画を促していく必要がある。	翌年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	コミュニティ推進事業				担当	市民生活部 自治振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～	年度			
第5次川口市総合計画	VI	市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地域活動(町会・自治会など)の支援					
根拠法令等							

2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
町会・自治会加入者及びお祭り来場者等が、地域コミュニティ活動に参加することにより、地域社会の充実・強化が図られ、本市の健全な発展と住民福祉の向上を目的とする。			地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上をめざす。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動に対し傷害保険に加入 ・コミュニティ事業による助成 ・地域コミュニティ活動活性化事業による補助 ・たら祭り及び市民ふれあい祭り実行委員会への補助 			<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動中に負傷した2件の事故に対し保険料の支払い ・2町会に対しコミュニティ施設で使用する備品購入への助成金給付 ・19連合町会及び5町会に対し活動活性化事業にかかる補助金の給付 ・たら祭り及び市民ふれあい祭り実行委員会に対し警備、会場設営及びイベント企画等にかかる補助金の給付
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることができ、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与した。			今後も地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与していく。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	令和4年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	令和4年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		2 款	1 項	20 目	2 細目	6 細々目	コミュニティ推進事業
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)			10,091	7,251		68,616	64,585	
決算額(B)=(C)+(D)			9,606	6,971		61,466	64,585	
財源※			特定財源(C)	6,900		5,400	3,900	
			一般財源(D)	2,706		1,571	57,566	
			概算人件費(E)	2,541		2,607	2,673	
			従事職員人件費(人)	常勤	再任用	0.33	0.00	0.33
			12,147	9,578		64,139	67,324	
※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。								

5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ		高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果		期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性		高かった			施策(上位目的)への貢献		高かった	
	将来的な市民のニーズ		見込める			目的に対する事業内容		適正	
効率性	コストに対する成果		高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件		適正	15 /15
	業務プロセス改善		改善の余地なし			受益者負担の水準		適正	
	民間活用		活用の余地なし			対象者への周知		十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性			
58 /60	コミュニティ事業助成制度や補償制度は第三者が介入する助成金及び補助金であるため、事務処理上、時間を要してしまう。進捗の管理を徹底することが必要となる。				翌年度	縮小して実施		
					翌々年度	現状維持で実施		

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	コミュニティセンター指定管理者管理運営費				担当	市民生活部 自治振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度	~	年度				
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地域活動(町会・自治会など)の支援						
根拠法令等	川口市コミュニティセンター設置及び管理条例						

2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
指定管理者に施設の管理運営を委ね、地域の実情に合わせたきめ細やかな住民サービスを提供し、施設の設置目的を効果的に達成することを目的とする			市民が自主的な地域活動を通じて、人と人とのふれあいを深め、もって潤いのあるよりよい地域づくりを推進する
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
指定管理者制度により、芝コミュニティセンターの運営管理を芝コミュニティ委員会に委託した			事故等がなく問題なく運営できた
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
指定管理者制度を導入したことにより、地域の活力を積極的に導入でき、地域コミュニティを醸成できた			令和8年度に指定管理者の指定期間が満了するにあたり、指定管理者の高齢化への対応策や、施設の鍵の管理を含め、施設の運営方法について検討する必要がある。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和4年度		令和5年度	令和6年度	
	目標値				令和7年度	令和8年度			
指標②	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和4年度		令和5年度	令和6年度	
	目標値				令和7年度	令和8年度			
指標②	実績値・達成状況								

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		2 款	1 項	20 目	2 細目	9 細々目	コミュニティセンター指定管理者管理運営費
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)			1,500	1,500		1,500	1,500	
決算額(B)=(C)+(D)			1,376	1,385		1,335		
財源※			特定財源(C)	0		0	0	
			一般財源(D)	1,376		1,385	1,335	
			概算人件費(E)	2,156		2,212	2,268	
			従事職員人件費(人)	常勤	再任用	0.28	0.00	0.28
						0.28	0.00	0.28
			総事業費[(A)又は(B)+(E)]	3,532		3,597	3,603	
							3,824	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 /60	指定管理者の高齢化への対応策や、施設の鍵の管理を含め、施設の運営方法について検討する必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	鳩ヶ谷コミュニティセンター施設管理費			担当	市民生活部 自治振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5311	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地域活動(町会・自治会など)の支援							
根拠法令等								

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	鳩ヶ谷コミュニティセンター施設利用者に対し、自主的な地域活動を通じて、人と人とのふれあいを深め、もって潤いのあるよりよい地域づくりを推進する場所を提供することを目的とする。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	鳩ヶ谷コミュニティセンターの維持管理、備品及び施設修繕		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	鳩ヶ谷コミュニティセンターの施設・備品修繕、警備業務委託、管理及び清掃業務委託等		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	利用者が安心し、快適に施設を利用できるよう施設の維持管理ができた。		
	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	利用者が安心、快適に施設を利用できるよう、引き続き施設の維持管理をしていく必要がある。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②	実績値・達成状況							
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
単位	指標の種別							
目標値	令和4年度				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②	実績値・達成状況							

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	2 款	1 項	20 目	2 細目	10 細々目	鳩ヶ谷コミュニティセンター施設管理費
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		5,717	6,651	6,596	6,641	6,641		
決算額(B)=(C)+(D)		5,634	6,120	5,926				
財源※	特定財源(C)	321	393	447	395			
	一般財源(D)	5,313	5,727	5,479	6,246			
	概算人件費(E)	15,262	15,274	486	498	498		
従事職員人件費(人)	常勤	0.06	4.00	0.06	0.06	0.06	0.06	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		20,896	21,394	6,412	7,139	7,139		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	現状維持で実施
56 /60	今後、施設使用料について、今般の社会情勢の変化に対応した十分な見直しを行い、新たに設定していく必要がある。		現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	マンションコミュニティ支援事業				担当	市民生活部 協働推進課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-227-7633	新規・継続		継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 22 年度	~	年度				
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地縁活動(町会・自治会など)の支援						
根拠法令等	川口市協働推進条例、川口市マンションコミュニティ連絡協議会補助金交付要綱						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	マンション居住者・居住予定者を対象に、マンションコミュニティにおける管理・生活課題を共有する機会を設け、町会・自治会を基盤としたコミュニティ形成の活性化を図る協議会に補助金を交付する。		
当該年度の実施内容及び成果	<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベランダ菜園(4月) ・セミナー(7月) ・フォーラム(2月) ・情報交換会(6月、10月、12月、3月) ・会報紙の発行(7月、1月) ・定例会 		
	<p>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</p> <p>参加者が抱えているマンションコミュニティの課題やその対策について話し合う情報交換会には計93名参加した。会報紙を配布した後の一時的な期間において、情報交換会やセミナー等の問い合わせが増加した。</p>		
	<p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <p>協議会はセミナー等の参加者に対して、マンション管理における知識や他マンションが抱える問題に関する情報を周知し、話し合いの場を設けたことで、マンション内及び地域のコミュニティの醸成と円滑な運営に寄与することができた。また、セミナー参加者も自身のコミュニティの課題とその対策について考えることができた。</p>		
	<p>①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</p> <p>マンションコミュニティの形成を促進するための活動を定期的に実施できている。一方で、各種セミナーの参加者数を増やすために周知を積極的に行うこと等が求められる。</p>		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	各種セミナー等の参加者		指標・目標値の説明(算定式)	実施したセミナー等の参加者数において、過去3年間の参加者数の平均値を指標として、今年度の実績を評価する。					
	単位	人	指標の種別		活動	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値					99.00	99.00	99.00	131.00	131.00	131.00
実績値・達成状況		146.00	達成		143.00	達成	106.00	達成		
指標②	名称	会報紙発行による情報提供件数			指標・目標値の説明(算定式)	年間に1,500件の情報提供を目標値として設定。				
	単位	件	指標の種別	結果		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値						1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00
実績値・達成状況		1,378.00	未達成			1,425.00	未達成	1,427.00	未達成	

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	2 款	1 項	31 目	3 細目	1 細々目	マンションコミュニティ支援事業		
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
予算額(A)		300	300	300	300	300	300			
決算額(B)=(C)+(D)		290	300	300	300	300	300			
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0	0	0			
	一般財源(D)	290	300	300	300	300	300			
概算人件費(E)		539	553	567	581	581	581			
従事職員人件費(人)	常勤	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		829	853	867	881	881	881			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	9 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市閥与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
44 /60	マンションコミュニティ施策について、担当部署等と今後の施策のあり方について調整を図りつつ、補助金が削減された場合でも団体自身の力で運営を行えるように、事務作業の見直しや活動資金の調達方法について検討する。	翌年度	縮小して実施
		翌々年度	縮小して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	市民ホール施設運営費				担当	市民生活部 芝支所	
事業区分	通常事業	-		問い合わせ先	265-1166	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 2 年度	～		年度			
第5次川口市総合計画	VI	市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1	市民が元気に活動するための環境づくり-①	地縁活動(町会・自治会など)の支援			
根拠法令等	川口市立芝市民ホール設置及び管理条例、川口市立芝市民ホール管理規則、川口市立芝市民ホール処務規程、川口市立芝市民ホール施設貸与取扱要綱等						

2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
市民等の文化の向上と福祉の増進を図るとともに、市民相互の交流を促進することを目的とする。			市民等の文化の向上と福祉の増進を図るとともに、市民相互の交流が促進されたこと。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
①利用許可に関する業務 ②利用に関する料金収納業務 ③施設の維持管理に関する業務			利用者が施設を便利で快適に利用できるよう維持管理を行い、貸館業務ができた。
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
【年間利用者数】 芝市民ホール 延べ31,787人 鳩ヶ谷駅市民センター 延べ 16,784人 ふれあいプラザさくら 延べ28,880人			施設の老朽化等に伴い、各施設に要修繕・要改修箇所が見られる。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
実績値・達成状況								
指標②	名称							
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
実績値・達成状況								

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	2 款	1 項	29 目	2 細目	1 細々目	市民ホール施設運営費
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		21,952	23,589	24,443	25,741	25,741		
決算額(B)=(C)+(D)		21,829	23,377	24,203				
財源※		特定財源(C)	0	0	0	0		
一般財源(D)		21,829	23,377	24,203	25,741	25,741		
概算人件費(E)		27,416	28,032	28,648	25,564	25,564		
従事職員人件費(人) 常勤 再任用		3.08	1.00	3.08	1.00	3.08	0.00	3.08 0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		49,245	51,409	52,851	51,305	51,305		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市閲与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 /60	各施設に要修繕・要改修箇所が見られるが、今後も計画的に工事・修繕を行い長寿命化を図りつつ、効率的な施設運営を行っていく。	翌年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	集会所施設管理費			担当	市民生活部 芝支所	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-280-1200	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地縁活動(町会・自治会など)の支援							
根拠法令等	川口市鳩ヶ谷集会所設置及び管理条例等							

2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託				
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)						事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
地域住民の会議、集会等の利用に供し、もって市民の文化の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。						地域住民の会議、集会等の利用に供し、もって市民の文化の向上と福祉の増進が実現されていること。		
当該年度の実施内容及び成果				②アウトプット(①を実施した結果・実績)				
①アクション(当該年度に何を実施したか)				②アウトプット(①を実施した結果・実績)				
・集会所の修繕、備品購入 ・除草業務委託、清掃委託、鍵管理業務委託等				施設及び設備を適切に管理することができた。				
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)				①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題				
年間利用者数(16集会所の合計人数) 令和6年度 32,261人 令和5年度 28,653人 令和4年度 24,088人				集会所は、約7割が昭和50年代から60年代にかけて建築されており、施設の老朽化が進んでいる。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位							
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況							
指標②	名称							
	単位							
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	2 款	1 項	29 目	3 細目	1 細々目	集会所施設管理費
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		8,115	8,950	8,644	7,928	8,291		
決算額(B)=(C)+(D)		7,597	7,551	7,949				
財源※	特定財源(C)	688	721	980	781			
	一般財源(D)	6,909	6,830	6,969	7,147			
	概算人件費(E)	4,620	3,555	3,600	3,735	3,735		
従事職員人數(人)	常勤	0.60	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00	0.45
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		12,217	11,106	11,549	11,663	12,026		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	13 /15
	市閥与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 /60	老朽化の状況に応じて必要な修繕を行うなど施設の適切な維持管理に努める。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	川口駅前市民ホール指定管理者管理運営費				担当	市民生活部 川口駅前行政センター
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-227-7600	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度	~	年度	
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地縁活動(町会・自治会など)の支援			
根拠法令等	地方自治法 第244条の2			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	川口駅前市民ホールの安定的な運営および利用者への快適なサービスを提供する。		
当該年度の実施内容及び成果	<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <p>年末年始を除き、年間を通して4つのホールを利用に供し、会場設営など指定管理者が有するノウハウを活かした弾力的で質の高いサービスを提供した。</p>		
	<p>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</p> <p>指定管理者が有するノウハウを活かした弾力的で質の高いサービスを提供することで、昨年度よりも、多くの方に施設を利用していただくことができた。</p>		
	<p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <p>質の高いサービスを提供し、多くの方に利用して頂くことで、常時実施しているアンケートにて7割を超える方から良い評価をもらうことができた。</p>		
	<p>①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</p> <p>利用者が増えてきていることで、より設備の劣化スピードが上がっている。今後も利用者に満足していただくためには、設備の改修が課題である。</p>		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用件数(川口駅前市民ホール)		指標・目標値の説明(算定式)	市民ホールの年間利用件数(会議、式典、その他、催事の開催件数)				
	単位	件	指標の種別		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		600.00		600.00		600.00	600.00	600.00	0.00
実績値・達成状況	645.00	達成	672.00	達成	747.00	達成			
指標②	名称								
	単位	件	指標の種別	指標・目標値の説明(算定式)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値									
実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	2 款	1 項	30 目	3 細目	2 細々目	川口駅前市民ホール指定管理者管理運営費
年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)			4,475	4,000	3,529	3,042	2,000		
決算額(B)=(C)+(D)			4,475	4,000	3,529				
財源※			特定財源(C)	0	0	0	0		
			一般財源(D)	4,475	4,000	3,529	3,042		
			概算人件費(E)	693	632	891	913	913	
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	0.09	0.00	0.08	0.00	0.11	0.00	0.11 0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			5,168	4,632	4,420	3,955	2,913		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
54 /60	利用者の満足度調査を実施し、利用者ニーズにこだえる工夫をする。開設から18年、一部の設備の経年劣化等が認められるので、計画的な更新・修繕等に努め、快適な環境を整える。	翌年度 縮小して実施 翌々年度 休止

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	コミュニティセンター指定管理者管理運営費				担当	環境部 朝日環境センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-228-5300	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度	～	年度								
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-① 地縁活動(町会・自治会など)の支援										
根拠法令等	川口市コミュニティセンター設置及び管理条例、同施行規則										

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	市民が自主的な地域活動を通じて、人と人とのふれあいを深め、もって潤いのあるよりよい地域づくりを推進することを目的とする		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	施設の貸出等の管理運営業務、近隣町会との共催により、周辺住民参加による「餅つき大会」の実施		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	施設の利用者数 約6,000人 ・餅つき大会参加者 約250人		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	施設の維持管理を適正に行い、利用者が安心し快適に施設を利用することができた。事業においても幅広い年齢層の参加者があり、地域コミュニティの醸成に寄与した		
	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	限られた予算の中で事業内容等を工夫するなど積極的な企画運営により、更なる地域コミュニティの充実を図る		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	「あさひコミュニティセンター」の年間利用者数	指標・目標値の説明(算定式)	直近3年間における最高年間利用者数			
	単位	人		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	目標値	7,925.00		3,097.00	5,585.00	5,585.00	5,585.00
指標②	実績値・達成状況	3,097.00	未達成	5,585.00	達成	5,963.00	達成
	名称						
	単位						
指標②	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況						

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		4 款	2 項	7 目	2 細目	5 細々目	コミュニティセンター指定管理者管理運営費
年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)	1,694		1,694		1,694		1,694	
決算額(B)=(C)+(D)	1,496		1,518		1,590			
財源※	特定財源(C)		0		0		0	
一般財源(D)	1,496		1,518		1,590		1,694	
概算人件費(E)	770		790		810		830	
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]	2,266		2,308		2,400		2,524	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性		
52 /60	環境センター建設の際の経緯があり朝日環境センターの所管事業となっているが、「地域コミュニティの充実」を目標とする施設であることから、コミュニティ活動の推進を業務とし、かつ条例・規則を所管している部・課の事業とした方が更なるコミュニティの充実に繋がるのではないかと考える。				翌年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	市民パートナーステーション施設管理費				担当	市民生活部 協働推進課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-227-7633	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	VI	市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-② 市民活動(NPO・ボランティアなど)の支援					
根拠法令等	川口市立かわぐち市民パートナーステーション設置及び管理条例、川口市立かわぐち市民パートナーステーション管理規則						

2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
市民の社会貢献活動の支援・促進のために、かわぐち市民パートナーステーションの管理及び運営を行う。			さまざまな市民ニーズに応えられるような、NPO法人・ボランティア団体等の社会貢献活動を行う団体の活動拠点となり、継続的な活動を行うことができる。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
・市内で活動する社会貢献団体の登録 ・登録団体への会議室等の貸し出し ・団体が作成した活動に関するチラシ・ポスターの設置 ・国や県で実施されている助成金の要綱等の設置			市民団体の登録、活動についての相談や情報提供を行い、活動の支援や促進に繋がった。
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
団体の活動の継続・促進に寄与した。			社会貢献活動を行う団体への会議室の貸出や団体のチラシを掲示することにより、活動の継続・促進に寄与している。一方で、登録団体の増加のために、当施設の役割や重要性について広く周知することが求められる。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	NPO法人・ボランティア団体数		指標・目標値の説明(算定式)	かわぐち市民パートナーステーション及び社会福祉法人川口市社会福祉協議会の登録団体数の合算			
	単位	団体	指標の種別		結果			
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②		405.00			405.00	405.00	0.00	
	実績値・達成状況	347.00	未達成		378.00	未達成	365.00	
	名称							
指標②	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	2 款	1 項	31 目	1 細目	1 細々目	市民パートナーステーション施設管理費
年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)			14,957	12,729	13,058	25,936	13,375		
決算額(B)=(C)+(D)			13,814	12,027	12,840				
財源※			特定財源(C)	240	12,027	265	275		
			一般財源(D)	13,574	0	12,575	25,661		
			概算人件費(E)	29,260	26,544	25,110	25,730	25,730	
			従事職員人件費(人)	常勤	再任用	3.10	0.00	3.10	0.00
			総事業費[(A)又は(B)+(E)]	43,074	38,571	37,950	51,666	39,105	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	ニーズに合った施設運営内容の検討や社会貢献活動の拠点としての周知を図る必要がある。	翌年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	市民との協働推進事業				担当	市民生活部 協働推進課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-277-7633	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-② 市民活動(NPO・ボランティアなど)の支援			
根拠法令等	川口氏自治基本条例、川口市協働推進条例			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	個人の価値観や生活様式の多様化により、市民の要望は複雑化・多様化している。細かな要望に対応し住みやすいまちとするには、市民等と行政の協働が不可欠であり、協働によるまちづくりを展開するため本事業を行う。		
当該年度の実施内容及び成果	<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川口市協働推進委員会の開催 ・市民活動助成事業(コミュニティ形成、地域活性化等の市民活動に対する助成) ・NPOに関する講座及び相談会の実施 ・ボランティア見本市、ボランティア広場の開催 ・青少年ボランティア育成事業 		
	<p>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</p> <p>市民団体の活動に関する相談・支援や助成をするとともに、活動の場を提供した。協働推進施策や市民活動支援事業を通じて、地域活性化と市民参加の促進が図られた。</p>		
	<p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <p>市民と行政の連携により、助成事業やボランティアイベントなどを通じてコミュニティ形成や市民の主体的な活動が活性化した。</p> <p>また、次代の担い手となる青少年に対し、ボランティア体験事業を広く実施し、協働の推進に寄与した。</p>		
	<p>①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</p> <p>市民ニーズの多様化や市民団体の動向は常に変化しており、全てを捉えることは困難であるが、情報収集を欠かさず、協働の啓発、周知活動を積極的に行う必要がある。また、次代を担う青少年にボランティア体験の機会を設け、ボランティアへの関心を高め、人材として育成することが必要不可欠である。</p>		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	市民活動助成事業助成団体数		指標・目標値の説明(算定式)	協働の担い手である市民団体活動を支え、まちづくりの一助とする目的で支出する市民活動助成金の助成団体数。指標は予算額を助成限度額で割り返したもの(予算額÷助成限度額)。				
	単位	団体	指標の種別		結果	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標値	令和4年度			令和5年度	5.00	5.00	5.00	4.00
	実績値・達成状況	5.00	達成		4.00	未達成	3.00	未達成	
指標②	名称	青少年ボランティアスクール及びさるん参加者							
	単位	人	指標の種別	指標・目標値の説明(算定式)	結果	青少年ボランティア育成事業(ボランティアスクール、こどもフリーさるん、夏休みこどもボランティアさるん)の参加者合計数が1,000人となるように設定			
	目標値	令和4年度			令和5年度	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	実績値・達成状況	883.00	未達成		960.00	未達成	1,236.00	達成	

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	2 款	1 項	31 目	2 細目	1 細々目	市民との協働推進事業
年度			令和4年度	令和5年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算額(A)			7,874	7,775			6,374	7,777	8,576
決算額(B)=(C)+(D)			5,814	5,777			5,691		
財源※	特定財源(C)		5,109	5,777			0	0	
	一般財源(D)		705	0			5,691	7,777	
概算人件費(E)			21,560	22,120			22,680	23,240	23,240
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	2.80	0.00	2.80	0.00	2.80	0.00	2.80
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			27,374	27,897			28,371	31,017	31,816

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
54 /60	今後も情報収集を欠かさず、協働の啓発、周知活動を積極的に行う必要がある。またデジタル化を促進し、効率的な運営やコスト削減をめざしていく。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	盛人大学事業				担当	市民生活部 協働推進課	
事業区分	通常事業	~	問い合わせ先	048-227-7633	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度	~	年度								
第5次川口市総合計画	VI 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”-1 市民が元気に活動するための環境づくり-② 市民活動(NPO・ボランティアなど)の支援										
根拠法令等	盛人大学事業実施要領										

2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部補助金・負担金
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
50歳からの社会貢献意識が高くなる世代を成熟した盛んなる人「盛人」と呼び、地域への関わりのきっかけづくりとして「盛人大学」において、知識、経験を生かす場と交流の場をつくることで地域の活性化を図る。			地域で社会貢献活動で活躍する人材の育成をめざす。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
社会教養コースのほか8コース(全9コース)の講座を実施するとともに、大学祭等の課外活動も行う。			新規受講者が半数以上を占めており、今後の伸長が期待される。
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
受講生同士の交流の場となり、新たな人とのつながりができる。			受講者のうち、新規受講者が半数以上を占めており、事業周知はできている。一部の卒業生は、かわぐち市民パートナーステーションのボランティア団体登録を行っており、目標とする卒業後の社会貢献活動へ結びづいている。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	盛人大学受講者数		指標・目標値の説明(算定式)	定員数の8～9割程度で端数を調整した数として設定した。			
	単位	人	指標の種別		結果			
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度
		150.00			150.00		220.00	220.00
指標②	実績値・達成状況	185.00	達成		189.00	達成	222.00	達成
	名称	卒業後に社会貢献活動を行った方の人数			指標・目標値の説明(算定式)	指標1受講者数の目標値に卒業者の概算として0.8を掛け、さらにその6割について端数を調整し目標値とした。(翌年度末にアンケートを実施し集計)		
	単位	人	指標の種別	結果				
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
		70.00		70.00		100.00	100.00	100.00
	実績値・達成状況	55.00	未達成	48.00	未達成	0.00	—	

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	2 款	1 項	31 目	5 細目	1 細々目	盛人大学事業
年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)			1,641	1,641	1,678	1,644	1,494		
決算額(B)=(C)+(D)			1,353	1,531	1,602				
財源※			特定財源(C)	0	0	0	0		
			一般財源(D)	1,353	1,531	1,602	1,644		
			概算人件費(E)	11,165	11,455	11,745	12,035	12,035	
			従事職員人件費(人)	常勤	再任用	1.45	0.00	1.45	0.00
						1.45	0.00	1.45	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			12,518	12,986	13,347	13,679	13,529		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市民関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施